

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和4年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- ▶ また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- ▶ さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

□ 事業内容

木材を活用した子育て層向け備品等の整備事業

- ・ 子育て層の親子が利用する区役所内の部屋において、木材を利用した備品等を設置し遊びの環境づくりを行う。

具体的には区役所内の子育て層親子が利用する「おひさまルーム」において、整理棚・ちゃぶだい等の木製品を設置し、利用する年齢に応じたあそびの環境を整備する。

【事業費】526千円（うち譲与税526千円）

【実績】おひさまルーム（常時開放型）で使用

□ 事業スキーム

一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- ・ 子育て層の親子が利用する場所において、木材を活用した備品を設置し、遊びの環境を整備することにより、木の良さを実感していただきながら親子での遊びを充実してもらう。

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額：310,620千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

